

東京女子医大事件  
ICU記録改ざん

# 大半、瀬尾医師が実施

## 別の看護師にも指示

東京女子医科大病院の心臓手術ミスで平柳明香さん(当時12)が脳循環不全で死亡した事故で、集中治療施設(ICU)記録の改ざんは13カ所で、大半は医師の瀬尾和宏容疑者(46)が証拠隠滅容疑で逮捕し、自ら書き直していたことが1日、警視庁の調べで分かった。また瀬尾医師は当初、証拠隠滅容疑で書類送検された看護師長(54)とは別の女性看護師に改ざんを指示し、断られていたことも判明した。

では、昨年3月5日に明香さんが手術ミスで死亡した直後、記録は同大心臓血管研究所ICU室で13カ所にわたって改ざんされていた。改ざんは瞳孔数値についてで、「7」に横線を書き加え、「4」としたほか、「6」につ

いても線を引き、「4」にみせかけていたという。瀬尾医師から指示を受けた看護師長が数カ所を改ざん。この後、依頼を断られたため瀬尾医師が残りの大半を改ざんしたという。

また、瀬尾医師は同日の手術直後、複数の女性看護師にICU記録の中で、脳障害を瞳孔数値について実際とは違う数値に書き換えるよう指示。看護師がこの指示を断ったため、代わりに5日に看護師長に依頼したことも判明した。

女子医大小児心臓手術事故

改竄医師個人

2002年7月1日 朝日新聞夕刊